（様式１）

平成２３年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号）０４５	**提案機関名**	農業技術センター　三浦半島地区事務所

要望問題名　キャベツ苗床における萎黄病対策について

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

三浦半島の主力作物であるキャベツの栽培において、臭化メチルの全廃以降、苗床は太陽熱消毒などに移行しているが、萎黄病の対策に関しては不十分である。環境保全型農業の推進の観点から、環境負荷の少ない方法でのキャベツ苗床における萎黄病対策の確立を希望します。

横須賀市、三浦市での作付け状況（平成20～21年神奈川農林水産統計年報より）

キャベツ　横須賀市357ha、三浦市751ha　　ダイコン　横須賀市22ha、三浦市775ha

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　[③４～５年以内]　④５～１０年以内
対応を希望する研究機関名	[①農業技術センター]　②畜産技術所　③水産技術センター　④自然環境保全センター
備　考	

回答機関名	農業技術センター	**担当部所**	三浦半島地区事務所

対応区分　[①実施]　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

低濃度エタノールを用いた新規土壌消毒技術の開発

対応の内容等

臭化メチルの代替技術として、化学合成農薬による代替以外にはこれまで熱水土壌消毒や土壌還元消毒などに取り組んで来ましたが、これらは大量に水を使用することから、三浦半島地域におけるキャベツ苗床の消毒に適した方法ではありませんでした。しかし、現在取り組んでいる「低濃度エタノールを用いた新規土壌還元消毒技術の開発」において、水量を必要としない方法について検討したところ、エタノール資材を直接かん注して太陽熱により一定の高温が維持できる条件では消毒が可能であることがわかってきました。本地域の消毒期間は夏期であり、高温維持が期待できることから、この方法をキャベツの苗床消毒に用いる試験を実施いたします。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　[③４～５年以内]　④５～１０年以内
備　考	